

令和3年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	3. 学習状況調査事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	4. 教育センター費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
臨時	単独	計画	0	0	747	実施計画	第4章	豊かな心を育み 笑顔あふれるまち (教育)	2,409
							基本施策1	学校教育	令和3年度 803
									令和4年度 803
									令和5年度 803
							施策1	学力向上・学習内容の充実に取り組みます	令和6年度 0
								令和7年度 0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		671

財源内訳							一般財源
本年度当初要求額							0
本年度当初査定額							671

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・学習状況調査作成委員会を年間4回開催し、調査問題を作成します。</p> <p>・市内小中学校に通う児童生徒に調査を行います。</p> <p>・調査結果を集計・分析して、報告書を作成し、各小中学校に配付します。</p>	<p>(事業の目的) ・市内小中学校に通う児童生徒の国語、算数・数学、理科、外国語の基礎的な学力の一部と、国語、算数・数学の知識及び技能を活用する力について現状を把握し、授業改善を図り、学力の向上をめざします。</p>	<p>(事業の効果) ・調査結果及びその分析をセンター報告会、報告書、校内研修会等を通じて学校にフィードバックすることにより、学習指導の改善に寄与できます。さらに、基礎学力向上のために、補習用プリントを作成し、各小中学校で補習や家庭学習の教材として活用しています。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・各校の取組により、基礎学力は定着してきています。基礎的な内容を活用する力に課題が見られるので、活用力の育成を目指し、指導内容や指導方法等の工夫改善について模索していきます。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・基礎的な学習内容の一部と、それらを活用する力について、定着状況の調査を行っています。この調査をより充実させ、より良い問題作りを行うために著作権料を削減することはできません。</p>	<p>(見直しについての特記事項) ・佐倉の教育施策の重点項目に「確かな学力の向上」が挙げられているため、必要となる基礎学力及び知識・技能を活用する力を向上させる取組を充実させます。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	260	260	0
10	400	487	△87
13	11	10	1

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源											
							差引一般財源	0	671	0	671